

令和7年3月4日

読谷村議会
議長 伊波 篤 殿

読谷村議会議員
上地 利枝子 印

一般質問通告書

第542回読谷村議会定例会において次の事項の質問をしたいので、会議規則第61条第2項の規定により通告いたします。

質問要旨	答弁を求める者
<p>1 夏場の熱中対策、災害時の避難場所として指定されている村内各小中学校の体育館へ冷房設置について村民（特に部活動をしている児童生徒）から要望がある。村としてどのように考えているか伺う。</p>	
<p>2 令和7年2月10日に「波平ビーチ沿いの環境保全地域にグランピング宿泊施設の実現に関する地域要望書」が波平自治会長から提出されていることについて</p> <p>(1) 波平海岸沿いの沈砂池は、近年の大雨などの影響により、オーバーフローが確認され、処理能力が懸念されます。現在、目視で確認したところ、水草などが繁茂しており、沈砂池としての機能低下や海岸側の破損・侵食も見受けられます。また、埋蔵文化財である大当原貝塚が隣接しており、その周辺地含め草木で覆われ、埋蔵文化財指定地であるかさえ分からない状況です。そのような状況下で、不法投棄も後を経ちません。波平区や読谷村の文化遺産である、大当貝塚の保全を目的とした管理体制など、抜本的な対策を早急に講じるよう次のアからエまで要望します。</p> <p>ア 沈砂池のオーバーフローリスクに対する処理能力の向上。</p> <p>イ 樹木や雑草などの恒久的除去対策と不法投棄の防止策の実施。</p> <p>ウ 海岸側の損傷修繕と侵食対策の徹底。</p> <p>エ 埋蔵文化財の抜本的な管理体制や保全のあり方。</p> <p>(2) 旧火葬場跡地の活用について伺う。</p>	

質 問 要 旨	答弁を求める者
<p>(3) 令和5年3月24日、3月議会で建設経済常任委員会 委員長報告で「波平ビーチ沿いの環境保全地域にグランピング宿泊施設の実現に関する陳情」について審査報告書の結果、建設経済常任委員会及び本会議で賛成多数で採択されました。その結果を踏まえ、読谷村としてどのように取り組んでいくのか。</p>	
<p>3 高齢者がいつまでも元気でいられる村づくりの取り組みについて次の課題について、村として今後どのように取り組んでいくのか。</p> <p>(1) 「高齢者の健康と生きがいの場づくり」においてゆいまーる共生事業として各字公民館を拠点として実施している。介護予防活動の中心となる取り組みとして進められているが、近年は参加者の減少やボランティアの高齢化及び新規人材確保が課題となっている。ゆいまーるに参加できない未加入の高齢者の皆さんの拠点はどのように取り組んでいるのか。</p> <p>(2) 「高齢者生のきがいづくり支援」では、老人クラブ育成・支援事業が行われている。取り組みとしては計画通り展開されているものの、単位老人クラブにおいては役員の担い手がいないうちから休会になる事例もあり、現会員の高齢化も進んでいることから、新規会員の加入に向けた取り組みが課題となっている。</p> <p>(3) 保育所との世代間交流活動、児童生徒と高齢者との交流活動について具体的な取り組みについて伺う。</p>	
<p>4 高齢者生活支援サービスの具体的な取り組みと対象者の数。</p> <p>(1) 外出支援サービス。</p> <p>(2) 食の自立支援サービス（配食サービス）。</p> <p>(3) 訪問理容・美容サービス。</p> <p>(4) 買い物支援サービス。</p>	